

科目名	担当教員名	学期
国際会計 International Accounting	長谷川 茂男	前期
目的	国際財務報告基準（IFRS）の学習の基礎となる「IFRSの概要」の理解を目的とする。 国際会計実務の受講のための基礎的な知識を習得する。	
概要	IFRSを学ぶためには、その前提として日本の会計や財務会計の基礎的な事項（関連する法令・利害関係者）の概要の理解が必要である。それらを基礎にIFRSの基礎となる考え方の説明を重点的に行う。	
到達目標	IFRSについての基本的な考え方（資産・負債アプローチ）・論点を理解する。	
成績評価の 基準と方法	理解度チェック（期末の1回－50点）、小テスト（10回程度実施－50点） 合計100点 60点以上合格を原則とし、相対評価により評価を決定する（得点上位から A:20%、B:40%、C:30%、D:10%）。	
履修条件	特になし。	
授業計画		
第1週	基礎となる事項	
第2週	IFRSに関連する事件、コンバージェンス	
第3週	IFRSとは、IFRSの特徴	
第4週	日本基準の特徴、財務諸表の作成、IFRS会計の基礎	
第5週	財務諸表の様式、連結財務諸表	
第6週	持分法投資、ジョイントベンチャーへの投資、比較可能性（会計方針、見積りの変更、非継続事業）	
第7週	資産（パート1）	
第8週	資産（パート2）、負債、収益	
第9週	繰延税金	
第10週	年金	
第11週	企業結合、外貨換算	
第12週	有給休暇、ストック・オプション、修正仕訳	
第13週	ヘッジ会計、セグメント情報	
第14週	IFRS初度適用、理解度チェック	
第15週	理解度チェックの解説、まとめ	
テキスト 参考書等	【テキスト】 表解IFRS会計講義（中央経済社）（長谷川茂男著） その他のレジメも適宜配布 【参考書】 特になし	

その他
特記事項

- 授業の最後に、その授業内容に関する小テストを実施（「成績評価の基準と方法」を参照）。
- 予習については、授業の範囲のテキストの内容を1時間程度で目を通すことを想定。
- 復習については、30分程度で、前の週の小テストで不正解だった点を見なおすことを中心に想定。